

2026 年 10 月 13 日

「Dify ホスティング環境運用サービス」を提供開始
～ お客様による AWS 契約が不要、リコージャパンが AWS 環境を提供・運用することで
中堅・中小企業の Dify 導入負荷を軽減 ～

リコージャパン株式会社(社長執行役員:笠井 徹)は、生成 AI アプリケーション開発プラットフォーム「Dify(ディフィ)」の有償ライセンス「Dify Essential/Standard」を利用するお客様向けに、「Dify ホスティング環境運用サービス」を 2026 年 10 月 13 日より提供開始します。

「Dify Essential/Standard」ライセンスは、中堅・中小企業や部門単位での活用を対象としたライセンスです。今回提供を開始する「Dify ホスティング環境運用サービス」は、お客様自身で AWS の契約・管理をする必要がなく、「Dify Essential/Standard」ライセンスをリコーが契約・管理する AWS 環境上で利用できるサービスです。

本サービスで、リコーグループの社内実践での利用実績をもとに定義した、安定運用に必要なサーバー構成や各種設定値を適用した AWS 環境を提供します。AWS 環境の構築から Dify 利用開始に必要な設定までを行う「導入・環境構築サービス」に加え、AWS 環境および Dify の運用を行う「運用サービス」、Dify 利用に関する技術的支援を行う「技術伴走支援サービス」を提供します。これにより、クラウド環境の契約や設計・構築、運用に関するお客様の負担を軽減し、Dify 活用を迅速に開始することが可能になります。さらに、AWS 上で利用可能な Amazon Bedrock の LLM を利用できる「LLM 利用サービス」も提供します。

Dify 利用に必要なクラウド環境の設計・構築、導入・運用、技術伴走支援をワンパッケージで提供することで、お客様の導入負荷を軽減し、中堅・中小企業における AI 活用を支援します。

リコージャパンはリコーグループの実践活動で培ったノウハウとともに、お客様に寄り添い、業種業務に合わせて利用できる「使える・使いこなせる AI」を提供し、お客様が取り組むオフィス／現場のデジタルトランスフォーメーション(DX)を支援してまいります。

リコージャパン株式会社 <https://jp.ricoh.com/companies/ricoh-japan>

報道関係のお問い合わせ先 リコージャパン株式会社 コーポレートコミュニケーション部

E-mail : zjc_rjccd@jp.ricoh.com

お客様の問い合わせ先

リコーのAIに関するお問い合わせ

<https://promo.digital.ricoh.com/ai/contact/>

背景

企業における生成 AI 活用が進む中、Dify を活用した AI エージェントや AI アプリケーションの市民開発への関心が高まっています。リコージャパンは 2026 年 6 月より「Dify Essential/Standard」ライセンスの提供を開始し、中堅・中小企業や企業の部門単位での AI 活用を支援してきました。一方で、Dify を利用するためには、AWS などのクラウド環境の契約や設計・構築、運用保守体制の整備が必要であり、とくに中堅・中小企業をはじめとする IT・インフラ管理の人材やリソースが限られる企業にとっては導入時の大きな障壁となっていました。

「Dify ホスティング環境運用サービス」の特徴

1. AWS 環境の設計・構築を行う「導入・環境構築サービス」

お客様自身でクラウド契約を行う必要がなく、リコーが管理・運用する AWS 環境上にお客様占有環境を構築し、Dify を利用できます。リコーグループの社内実践で培った Dify 活用ノウハウをもとに定義した、Dify Essential/Standard ライセンスの運用に適したサーバー容量、メモリ構成などのインフラ要件、各種設定値を標準化した環境を提供します。また、Dify の導入から利用開始に必要な設定までをリコージャパンが一括で実施することで、導入時の検討工数やリードタイムを削減します。

2. 運用を支援する「運用サービス」

AWS 環境および Dify の運用サービスとして、リコージャパンが Dify やサーバーソフトウェアのアップデート対応やログ監視、障害発生時の対応をいたします。クラウド環境の管理・運用をリコージャパンに任せることができ、IT 管理者やクラウドサービス運用人材が不足している企業でも安心して導入できます。

3. Dify の利活用に関する問い合わせに対応する「技術伴走支援サービス」

ホスティング環境上での Dify の利用に関する技術的な問い合わせに対応します。Dify の利活用時に生じる課題や困りごとに対して、リコーの技術支援チームが解決を支援します。

4. Amazon Bedrock を利用できる「LLM 利用サービス」

AWS 上で利用可能な Amazon Bedrock を必要に応じて活用できます。業務や用途に合わせて複数の AI モデルを活用でき、AI アプリケーション開発や運用を柔軟に行えます。

*「LLM 利用サービス」で使用可能な各種モデルは予告なく変更されることがございます。

今後の展開

リコージャパンは、Dify のライセンス提供や各種支援サービスに加え、2026 年 10 月より「Dify Essential/Standard 環境構築・導入サービス」や、コミュニティ型 Dify アプリ共有プラットフォーム「RICOH AI App Mall powered by Dify」の提供を開始しました。これにより、中堅・中小企業のお客様が Dify を導入し、活用を定着させるまでの各フェーズを支援するサービスラインアップと体制を強化しています。

今後もリコーグループは、社内実践・お客様への Dify の提供を通じて蓄積した知見をサービスへ反映しながら、お客様の Dify 活用の促進と定着を支援するサービス拡充を通じ、AI による業務効率化と生産性向上に貢献してまいります。

リコーのDify導入・環境準備・利活用・活用促進サービスの全体像

導入前相談～運用・活用定着までワンストップで支援

■ 中堅・中小企業向けサービス



リコーの Dify 導入・環境準備・利活用・活用促進サービスの全体像

■リコーグループでの Dify の活用と市民開発について

Dify は、LangGenius, Inc.が開発した LLM アプリケーション開発プラットフォームです。生成 AI を活用したアプリケーションや AI ワークフローをノーコード・ローコードで開発・運用できます。

リコーグループでは、国内グループ社員約 3 万人が利用可能な Dify 環境を整備し、各部門および個人が業務に即したアプリケーションを開発しています。これまでに約 10,200 件(2026 年 7 月時点)のアプリケーションが作成されるなど、AI の市民開発を推進してきました。これらの実践で得た知見をもとに、公式販売・構築パートナーとして、Dify のライセンス提供や、導入支援、関連ソリューションの展開を行っています。

■関連ニュース

「Dify Essential/Standard 環境構築・導入サービス」を提供開始

https://jp.ricoh.com/release/2026/1008_1

リコー、コミュニティ型 Dify アプリ共有プラットフォーム「RICOH AI App Mall powered by Dify」を提供開始

https://jp.ricoh.com/release/2026/1001_2

Notesアーカイブデータの利活用を実現するDifyアプリケーションを開発、個別提供を開始

https://jp.ricoh.com/release/2026/0903_1

リコージャパン、「大阪府行政AIエージェントコンソーシアム」に参画

https://jp.ricoh.com/release/2026/0807_1

リコージャパン、リコーITソリューションズ、神戸市の新たな市内AI基盤「KOBE AI PORT」の構築を支援

https://jp.ricoh.com/release/2026/0708_1

リコー、Difyアプリマーケットプレイスの社内運用を開始

https://jp.ricoh.com/release/2026/0608_1

「Dify Essential/Standard」ライセンスと、Difyアプリケーションの無償テンプレートを提供開始

https://jp.ricoh.com/release/2026/0601_1

リコージャパン、Dify アカデミック版と教育支援サービスを提供開始

https://jp.ricoh.com/release/2025/0630_1

リコー、生成 AI アプリ開発プラットフォーム「Dify」開発元の LangGenius, Inc.と販売・構築パートナー契約を締結

https://jp.ricoh.com/release/2024/1217_1

リコー、生成 AI アプリ開発プラットフォーム「Dify」を活用した社内実践を開始し、AI の市民開発に向けた取り組みを加速

https://jp.ricoh.com/release/2024/1128_1

■関連情報

Dify

<https://promo.digital.ricoh.com/ai/service/dify/>

※AWSは米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。

※社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

｜ リコーグループについて ｜

リコーグループは、世界約200の国・地域で、AIをはじめとする先進テクノロジーと、長年培ってきたプリンティング領域の強みを基盤に、ワークプレイスにおける業務変革を支援するサービス・ソリューションを提供しています。また、商用・産業印刷事業や、インクジェット技術を応用した新たなソリューションの展開を通じて、お客様の価値創出を支えています(2026年3月期グループ連結売上高2兆6,083億円)。

“はたらく”に歓びを 創業以来90年にわたり、お客様の“はたらく”に寄り添ってきた私たちは、これからもリーディングカンパニーとして、“はたらく”の未来を想像し、ワークプレイスの変革を通じて、人ならではの創造力の発揮を支え、さらには持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。

<https://jp.ricoh.com/>